

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に連絡ありたい。

極秘

大政事外外儀官  
務務典房  
次次  
臣官官審審長長

電 信 写 限 定 配 布

大外査特 博  
察担 代  
使研審室 表

総対文会厚情オ  
括 括  
審察人電在儀警史

外 審報内  
報 際外  
官 文長 一二

領移長 参一二旅査移

ア 審地中東  
長 参北東西  
一

北 審一二保  
米 密 〇

中 審一二  
南 審 一

欧 審 〇 〇 洋  
長 〇 〇 西東

近 審 〇 〇 〇 〇  
ア 審 〇 〇 〇 〇  
長 〇 〇 〇 〇

経 次参経漁途国  
長 審総経エ国博  
二ネ一

審海

経 審政国開無  
協 参調技有理  
長

条 審条協規  
長

国 参政経人  
長 参軍社

科 科原  
審

情 審情析調  
調 審企安  
長

総 番 号 R107908

主 管

年 月 08日 09時 45分 イ ラ ン 発  
60年 08月 08日 15時 50分 本 省 着

近丁局長

外 務 大 臣 殿

田 辺 臨 時 代 理 大 使

米 国 人 人 質 解 放 問 題 (イ ラ ン 側 に よ る 対 プ レ ス 発 表 未 遂 問 題)

第 1 3 7 4 号 極 秘 至 急 (ゆ う 先 処 理)

(限 定 配 布)

往 電 第 1 3 7 3 号 に 関 し、

7日午後、イラン外務当局者より「ラフサンジャニ議長が同日午前の中山特使との会談につき、右会談が行われたという事実及び会談内容をイラン側プレスに発表するよう、との指示を議会事務局に対し行つた」旨通報越し、わが方よりイラン外務省を通じ「ラ」議長にほん意方強く働きかけた結果、「ラ」議長と中山特使の会談の事実及び内容は公表されないこととなつたところ、右経緯次のとおり。

1. 7日午後3時30分ごろ、本官に対し、同日午前行われた「ラ」議長と中山特使の会談に同席していたモルシエドザデ外務省第七政務部長より「ラフサンジャニ議長は、同日午前行われた同議長と中山特使の会談に関し、会談が行われたという事実及びその内容をイラン側プレスに発表するように、議会事務局に指示した。本件が、日本側にとり「ねみみに水」とならないように、前以つて貴官にお伝えする次第である」旨連絡越しした。

2. 本件が極めて重要かつ機微な問題であることにかんがみ、わが方より「モ」政務

## 注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2172)に。  
に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

## 電 信 写

部長を通じイラン側に対し、「ラ」議長にはん意方説得するよう努めて欲しい旨ねばり強く働きかけた結果、「ラ」議長は最終的に本件を不公表とすることに同意した。

3. 同日よる求めに応じ往訪した本官に対し、「モ」部長は次のとおり語つた。

(1) 以前からわれわれは、今次中山特使の訪問が極秘なことは理解しており、外部にもれないよう努力してきたが、「ラ」議長は、本日の会談の結果、中山特使のイラン訪問は極秘に保つておく必要がないという印象をもたれた。

私見であるが、「ラ」議長は、今回の特使のイラン訪問の内容が日・イラン両国関係に資するものであり、またイランにとつてはレバノンにおける米国人人質解放問題についてのイランの立場を世界に公にするよい機会と考えたものと思う。

(2) しかし、日本側の意向を受け、われわれが努力した結果、本件は公表されないこととなつた。

われわれが、本件を公表したいとの「ラ」議長の意向を発表前に日本側に伝えたのは、日本側にとり「ねみみに水」とならぬようにするとの配慮とともに日本側の意向を打しんする含みもあつた。

(3) 以前にもこの種の問題が度々起こつており、不幸にも日本側からもれたために、公表しないとの約束が守られなかつたことが多々あつた。

例えば貴国よりわが国への訪問者があつた際に、われわれの強い要請にもかかわらず、日本側からもれてしまい、われわれが不都合な立場に立たせられたことがある。

私見ではあるが、「ラ」議長は、本件を発表するとの決定を下すに際し種々の要素を考慮したことと思う。

## 注 意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の内容に関する照会、要望等は特殊電配布班(TEL2777)に。
3. 本電の主管変更は記帳班 (TEL2172) に連絡ありたい。

## 電 信 写

上記(1)の点に加え、上述の一連の遺かな事例を同議長が思い起こし、これが「公表する」との決断に至る一つの要因となつたのかも知れない。

(4) いずれにせよ、日・イラン双方の連絡が密に保たれ、本件を調整し得たことはよろこばしい。

イラン側は、このように日本側の意向に沿うべく努力しているのであるから、日本側においても今後よろしくお願ひしたい。(了)